

2018/08/24

卓 471 伊勢原参り

夕方のJR取手駅から出る,

各駅停車・伊勢原行。



(2018/3/22 18:20)

この便に乗ると終点の伊勢原(小田急線)まで,

途中, 地下鉄千代田線を縦走して,

約100kmを2時間18分かけてたどりつくようです。

伊勢原市のある神奈川県・西部の内陸部は,

東名高速道を軸に、海老名、厚木、伊勢原、秦野(はだの)

などの都市が連なる一帯で、

伊勢原の名も、ラジオの渋滞情報で

「伊勢原バス停付近・20km」

などで耳馴染みがあります。

8月23日(木)の早朝、



(取手駅 2018/8/23 4:32)

伊勢原へ出向きまして。



(6:52) (15:09)

その近くの町に住む中高時代の友人と

この駅からバスに。



(6:57)

産業能率大学の近くや東名高速の下などを経て、
反対方向のバスと交換待ちをするほど細い
おもむきのある旧道も抜けて、



(7:20)

25分後、山のふもとにある
終点のバス停に到着。



(7:24)

この場所の標高は310m。

ここから、1252mの山頂をめざします。

関東の名山のひとつですが、私は初挑戦。



(昭文社「丹沢」)(手前の浅間山は、活火山の浅間山と同名ですが、異なります。)

あらかじめ、前の週に、登山用の地図で
所要時分を見ておきました。

バス停→(60分)→神社→(90分)→山頂

ざっとこんな、2時間半+休憩時間で、
10時半ころに登頂といったところでしょうか。



(7:38 「女坂」「男坂」分岐点)

登り道。 神社までの経路がここで2択。

左はなだらかで少し道のりのある「女坂」,

右は急で短距離の「男坂」。

早道がいいかと, 後者を選んで進んだのですが…。



(8:28)

私の方は早くも息が上がってしまい、思うように登れません。

予想外。今までにこんなことはありませんでした。

フルマラソンや山歩き(山走り)をたしなんでいる友人の

足を、完全に私が引っ張ってしまっています。



(一応, 脚を引っ張ってみました。)

というわけで, 休みばかり。バス停から,

24分進み, 11分休む。

19分進み, 6分休む。

9分進み, 4分休む。

13分進んで…, 神社到着。

60分での予定は, 86分かかってしまい…。

最初の11分間の休憩などは, 貧血状態でした。

じつは, 朝食を十分に摂っていなかったことも起因。

自宅の起床が予定(3:20)の40分遅れで、やや寝坊。

持っていた糖分(飴)や水分(茶)は取手・伊勢原間に摂ったものの、

他の栄養分が前の晩ご飯以来。…不用意でした。



(貧血休みのときに撮影 7:54)

もうひとつ思うのは、普段の運動不足。

この86分間がお粗末ながら、準備運動でした。

気分的にも不安に。この調子では頂上は無理か。

神社でおしまいにするか、とか。慎重なのか、弱気なのか。

急な石段も手を地に着きながら登ったのは、
高所恐怖症だから(後ろ側に墜ちるのが怖い)。
次回はスティック(杖)を持とうと思いました。

でも、そうした思いの数々は歩きながら友人と
その都度しゃべって笑い飛ばしておりました。

友人はそれを聴いてくれまして、根性とか頑張れでもなく、
無理をするな、でもなく、今のペースならどれくらいで
頂上に着けるか、などと、軽妙な口調で冷静なアドバイスを
かけてくれましたので、

今思えば、そのおかげで、登頂の可否を前に、
変に気分が滅入ってしまうことが避けられていたと思います。
長時間のフルマラソンで鍛えられているがゆえの
言葉かけをもらえたような気がしました。



(8:49, 正しくは「阿夫利神社下社(あふりじんじゃしもしゃ)」といます)



(8:49 標高差で予定の44%をクリアしました。)

境内からの下界の眺望はいまひとつ。

房総半島まで見えると案内板にはりますが、
かろうじて湘南の海岸線と江ノ島あたりまでが、
白っぽい風景としてぼやけがちに広がっていました。



(8:52)

さて、神社(標高725m)での10分休みを終えまして、



(9:01)

先ほどは無理かと思った， 神社→山頂， 90分へ。

でも， 今度は好調。 急傾斜も少な目。

117分かかってしまいましたが， 辛うじて登頂です。

内訳です。 標高 725m。

21分進み， 5分休む。

31分進み， 7分休む。 標高 930m。

13分進み， 2分休む。

7分進み， 3分休む。

28分進んで…， 登頂。 標高1252m。

1.43 倍だった遅れは, 1.30 倍へ 縮小です。

怖ろしく急な石段などはなくなりましたが,

土石流がフリーズしたかのような登り坂が主流に。



(10:09)

溶岩も目立ち始め, まつられているものも。



(9:55)

ようやく頂上近く, 急坂の終わりに。



(10:51)

3時間半かけて、登頂です。



(10:58)

茶店の飲食物でひとまず休憩ですが、

残念ながらその日の頂上は雲の中。

横浜市内から今朝はこの山が見えないけど大丈夫？

とチャットで聞いてきてくれた友人もいましたから、

お天気なら横浜や都内、東京湾、房総、筑波山まで

一望できるのでしょうか。でもその日は、

周囲は見えますが、遠くはただカルピス色。

両脚は乳酸充満の感があります。

でも不思議と、残念無念な気持ちは湧きませんでした。

頂上には37分間(11:34まで)。

このあと、別のルート(見晴台経由)で下山にはいりましたが、

苦難の「その2」が自分に起きました。

下山で膝が痛むなんて経験が実はない、なんて話していたら、

にわかには右脚が痛み出し、再び、ペースが下がり始めました。

神社でもう少しきちんとお参りをしておくべきだったかとも思い…。

しかし、痛風の発症に備えて持っていた鎮痛剤をのむと、

え？と思うくらい、1～2分後に痛みが弱まったので、
これは暗示とか気のせいというのも絶対あるよねと、
笑わずにはられませんでした。

かくして、山頂からさきほどの神社まで、
140分の予定でしたが、あら不思議、
まさかの125分で着いてしまいました。

この行程でも友人は、要所要所でペースをチェック。

私の右脚が痛み始めたときなどはペースは確かに落ちました。

しかし、投薬と気分転換でペースは上がり、

何事もなかったかのように、帰りの交通機関にたどり着くことができました。

というわけで、

普段4000歩くらいしか歩いていないところ、

この日は大汗かきかき、26000歩にもなりましたが、

それよりも、非日常の時空の中で、

身心ともに鍛えられてしまいました。

日曜に北海道でフルマラソンにのぞむ友人には、
その数日前などに登山に付き合ってもらい、申しわけなかったのですが、
普段は山道も「走る」という彼は、今回は観光ペースだから大丈夫
とさっぱりと言い放ってもらい、最後まで救われ通しでした。
フルマラソン、軽妙な走りでまたPB(自己ベスト)が叶いますように。

大山は、古来からの信仰の山。

自然や人に支えられながらの

自己を点検・分析する時間となりました。



大山は、鳥取県の大山(だいせん)も有名ですが、
神奈川県の大山(おおやま)は、関東地方の名山の一つです。

0 コメント

2018/08/31

卓 472 よみかき

小学生時代,

読書感想文を書くのは苦手でした。

書くより前に, 読み進むのも苦手でした。

今でも年に数十冊などというペースで

本を読むようなことはないのですが,

ではその当時, どんな本なら面白かったのか,

と問われたら, 幸いいくつかの書名が浮かんできます。

8/26 (日) に開催された「ミニ・オープンスクール」の

企画の一つである「夏休みの宿題相談コーナー」で,

参加した小6生の「読書感想文」を担当した

国語の先生からお話をうかがうと,

(ミニ・オープンスクールの様子はこちらから <https://www.seitoku.jp/toride/2018/08/12595/>)

・感想文の出だしをどう書いたらよいか

・ぐいぐいと読み進めるようにするにはどうしたらよいか

ということが柱となったとのことでしたが,

小学生時代の自分自身も、

まさにこの二点に圧されてたのを思い出しました。

でも今、面白かったと思ういくつかの書名の共通項を

考えてみると、(あくまでも) 自分の場合は、

「地理的な要素が強く盛り込まれている」こと

だったのかな？、と勝手に振り返っております。

どこそこの旅といったような紀行文はもちろん好きですが、

国語の教科書や課題図書がそんなジャンルばかりで

満たされていたわけではもちろんありません。

で、何が「地理的な要素」であり、

それが幼い自分を魅了したのか、

幼稚園～小学校時代に出会ったものを思い返しますと、

① **ストーリーの設定や舞台が、略地図で描かれている**

② **地理的な事象や現象自体を、ストーリーにしている**

という要素が盛り込まれているものとなります。

地理といえばよく誤解されがちな、

「地名や位置をおぼえるもの」という地理観ではありません。

「① ストーリーの設定や舞台が、略地図で描かれている」

の例としては、

- ・『エルマーのぼうけん』（とその続編2冊）ルース・スタイルス・ガネット
- ・『大きい1年生と小さな2年生』古田足日

ともに、設定空間を描いた鳥瞰図が見返しに描かれており、

本文以上に手垢まみれになっても仕方のない絵力が

読者を惹きつけていたと思います。

あとにブームが訪れたテレビゲームやファミコンのソフトにおいても、

架空でいいから、一次元でもいいから、明確なマップで

設定が用意されていた作品などが、大きくヒットしていたようにも思います。

というわけで、「一定のストーリーの中に、

架空でもよいので、ある程度確実な地理空間が用意された作品は、

多くの人が惹きつけられる要素で満ちている。」

などとも思います。

「② 地理的な事象や現象自体を、ストーリーにしている」

の例は、

『小さいおうち』 バージニア・リー・バートン

『白い川の白い町』（絶版）山口裕一

『小さいおうち』は岩波書店の絵本のものと

ディズニーの短編映画を絵本化したものがありましたが、

擬人化された平屋の家を軸に、

20世紀の「都市化」が叙情的に描かれ、読み飽きませんでした。

『白い川の白い町』は、

公害の原点をすっぱぬくわけではないのだけれど、

主人公が転校先の地域（愛知・高蔵寺ニュータウン）で出会った

奇妙な地理的事象（なぜか、川の流れが白い）の根源を見いだすために、

川の上流地域に何度も足を運び、ついに真相

（珪砂の加工で出る白い廃水が、当時の技術では

手の施しようがなかった）をつきとめるという、

ノンフィクション系で、まさに探究学習の

元祖ではないか（いいすぎか）と思う一作でしたが、

残念ながら絶版。

通販サイトで廉価で出ているのは、
私の世代の方々が売りに出したものが
多々あるという顛われなのでしょう。

それよりもなによりも、読書が不得手の私は、
書名を挙げる程度でおしまいにするつもりではあったのですが…。

そういえば、「読書の…」な季節も近づいてまいりましたね。



(8月最後の日には暮れて… 2018/8/31 18:22)



今号のタイトルからすると、

昭和36年まで長野県に実在した自治体

「読書村」のことかと思われたかもしれません。

取手の旧・稲戸井村（＝稲＋戸頭＋野々井）と同様のネーミングの、

読書村（＝与川（よがわ）＋三留野（みどの）＋柿其（かきぞれ））は

未踏地ですねえ。

3 コメント

コメント一覧

- 1

水越先生、ご無沙汰です。

旧姓笹木です。

確か、平成5年3月の卒業生です。

私は、聖徳大学短期大学部から、道都大学社会福祉学部2年次編入、4年生に教育実習で公民科の授業でした。社会福祉学部に編入できたのは、私が、代ゼミで試験を受けるため、地歴の勉強をマンツーマンでのご指導があったからです。

私は、現在、盲ろう者、所謂、視覚障害者と聴覚障害者の二重障害者の主人と暮らし、主人のサポートしながら、パートの仕事をこなしています。

私は、現在、趣味というか、趣味以上のマラソンに励んでいます。私は、視覚障害者のガイドランナーの活動と単独での旅ランです。私は、100 kmのウルトラマラソン、ウルトラマラソンは、フル以上のマラソンの事です。

今年は、フルのベストタイムは、古河はなももの4時間46分26秒。そして、奥武蔵ウルトラマラソンは、78 kmを10時間59分40秒で完走しました。

来年度は、フルで4時間30分切りを目標にして、来年の東京マラソンエントリーしました。来年3月3日。抽選結果は、25日です。とにかく、エントリー数は、30万以上。その中で3万4000人程の倍率12倍です。来年もしかしたら、土浦のかすみがうらで伴走か、単独で走れれば、とは、思います。よろしくおねがいします。継続は力なり!?!□

by: 田口香織(旧制)笹木, on 2018/09/13

- 2

田口(笹木)さん ありがとうございます。

面影をなんとなく覚えていましたが、念のため卒アルで顔を確かめてから・・・と思って今日は図書館の書庫で8期生の皆さんのアルバムをめぐりました。坂本先生のクラスのページにあった笹木さんの顔写真は私の記憶と合っていました。同じクラスのS原さんとも、Facebookで近況を見聞きしたりしております。逞しいたしなみをおもちですね。東京マラソンを走る日が来ることを、抽せん数日前の今日、お祈りしております。力もまた継続なり。

by: 水越卓治, on 2018/09/21

- 3

実は、東京マラソンは、抽選は、外れ。30万人以上のエントリーで、約12倍以上。ちなみに明けましておめでとうございます。

1月は、館山若潮フル、3月は、古河はなももフル、4月は、かすみがうらフル走ります。とにかく、4時間30分以内のベスト記録更新を狙います。よかったら、かすみがうらマラソンの見学に来てくれたら、うれしいです。場所は、土浦駅の陸上競技場です。

by: 田口 香織, on 2019/01/11

コメントを書く

2018/09/07

卓 473 北蓼科高原の幸

北蓼科（長野県佐久市春日）。



（ 4日中の2日目といえば, 昔も今も, 農作業体験です。 ）

こちらは海拔900m。

筑波山頂よりやや高し。

滞在地である「かすがの森」すぐちかくの耕地です。



さらにこちらは

海拔1900m。

撮った場所は、美ヶ原高原です。

朝も、



(再び 900mの かすがの森です。)

おいしい空気の満喫からスタート。

上の画像3点は、現5年生(高二)が
中1のときのもので、9月中旬でした。

関東のお野菜もうまいのですが、

ときどきいただく、

信州の水と土と空気で育った

畑の幸や、その加工品もまた格別。



日中活動したあとの夕ごはん、

野沢菜の葉っぱで巻いたご飯は至福の味です。



今日から4年(高一)と中学が4日間の
北蓼科高原体験学習(旧称・望月校外学習)に
出発しました, ということにちなんでの…。

そんな自然にいだかれた環境を求めて,
先週土曜に訪れた地は,



(2018/9/1 17:03)

木々の緑が水辺まで迫る,
潤いに満ちた理想郷。

この画像を引いて見ますと…



あら不思議。



ここはもしや、



(2018/9/7 17:02)

ああ。

学校の裏にある、広い駐車場で。

排水のキャパ(≒限界)を超えるゲリラ豪雨に見舞われ、

8年ぶりくらいにこんな光景が、

おもに教員が利用している駐車場に大展開。

こちらも…。



(2018/9/1 17:00)

今日は…。



(9/7 17:01)

でもこれとは比較にならない水準の災禍に
苦しめられている状況が、国内各地随所に…。

災害も障害も罹患も、

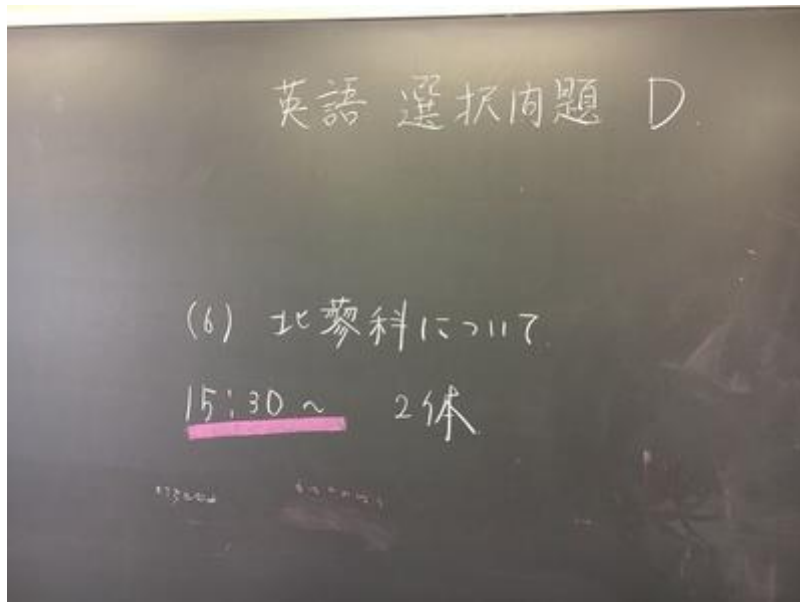
他人事ではなくなってきました。

無関心だったことに遅まきながら後悔したとき、
自分はどれだけの代案を、画策し尽くせるのだろう。

閑話休題。

北蓼科・出発の前日、午後。

届け物で訪れたあるクラスの黒板。



(9/6 15:48)

味わい深い板書から来る

しゃきっと感 × ほんわか感が。

安定感と安心感が。

で、きょうの

現5年生はバリバリ勉強中です。



(9/7 10:17)



引率の先生方 お元気ですか？ ビーシバシ 投稿いたませう。

0 コメント

2018/09/14

卓 474 プラトーの終わり

9月は、職員室に顔を出す卒業生が

比較的多い月かもしれません。



(2018/9/11 12:39 33期生(大学一年生))

大学生はまだ夏休みであったり、

学生以外の年代の方でも、

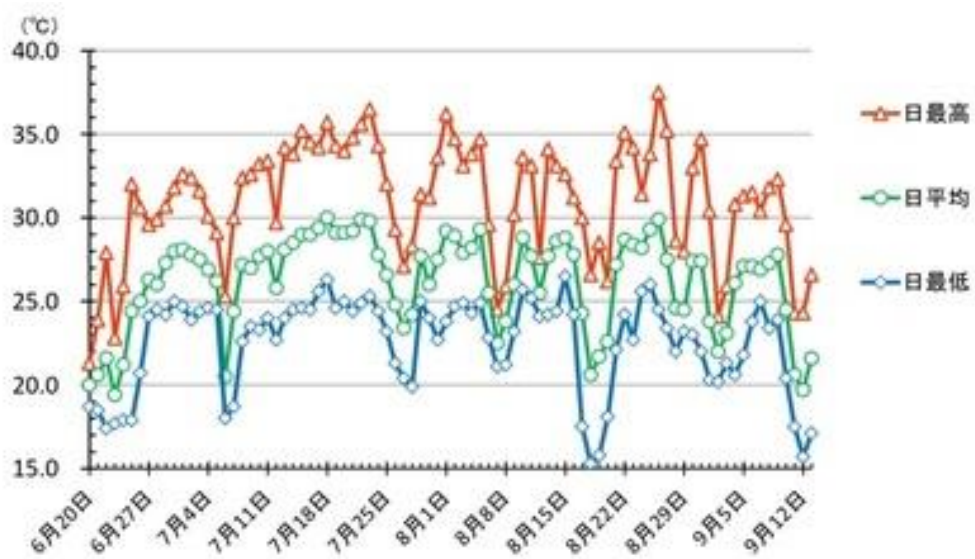
8月よりは、9月に行けば、

会える教職員が多そうだからとか…。



(9/11 7:45)

そして、今週は火曜(9/11)から
暑さが少し落ち着いたりもしました。



6/20 から 9/13 までの龍ヶ崎の気温の変化です。

緑色の「日平均気温」だけ注目してみても、

6/29 から 27℃を超えるようになり、

上がり下がりこそ幾度となくありましたが、

9/9(日)までの 70 日余りの間、

一連の暑さが続いたように思います。

特に、7月中旬の異常な暑さには

8月以上の勢いのようなものを感じます。

高原状の高まり(プラトー)も終わりを迎えたのか、

9/10(月)以降、気温は下がり始めましたが、

蚊や蜂などが少し活発に飛んでいるようにも

見受け、注意を要する感じがしました。

そんな真夏日をふりかえる中、

きょうの会食(給食)には、



(2018/9/14 12:33)

9/9(日)に北蓼科高原での農作業で
4年生(高一)や中学生が収穫してきたかぼちゃが、
鶏そぼろ入りのとろみあんかけ和えで
臨時メニューで登場。



「これはプリンか！」

と思うような歯ごたえ。

江戸崎かぼちゃも油断してはられないような風味。

いっしょに送られてきたであろうトウモロコシとともに、

高原の幸をご馳走様でした。



0 コメント

2018/09/21

卓 475 温度差の縮小

1号棟4階から南方を。



(2018/9/20 8:52)

田んぼを隔てて、若草色の鉄鋼解体工場。



その向こう側のみえない所,
県道沿いの一角。



(おとし 2016/6/6 12:30 小麦 収穫中)

以前は小麦畑でしたが、



(9/18 16:49)

最近、出勤時に気づいた



土地利用の変化。

造成されて、何かが

建てられるのでしょうか。

広さからして、

公園でしょうか。

コンビニでしょうか。

それとも、ちょっと先にある、



(8/1 12:57)

こちらのレストランの2号店ができるのでしょうか。

地理屋としては、やはり気になりますね。

そんな眺望の4階・地理教室ですが、



(9/21 10:26 高二特進理系・地理)

いろいろな学年で、授業開始前に、
暑い人、寒い人、と聞いてみると、

どちらもほぼ同数の、3分の1ずつ、
どちらでもなし、も3分の1くらい。

…といった日が、昨日や今日でした。

微妙な気温です。

体感温度のばらつきということになりますが、

「きのうテレビ見てたら画面にオンリョウが出ててこわかった。」

だとか

「紅葉とか、見に行コウヨウ。」

みたいな、全然手厚くもない言葉かけが加われば、

体感温度のばらつきは一気に収束することでしょう。

ひとまず、

「じゃ今日は窓は、指3本分だけ開ける、みたいな…」

(と言いながら窓少し開けを)

結構、蜂などが入りうる天候でもあるので、

一瞬でコントロールを判断せねば…、

な時季でもあります。

で、前号に続いて、



日平均気温のつづき。この一週間、
9/17(月・祝)に暑さがぶり返すも、
また、火・水・木にかなりな勢いで下降。

気温の変化が、食料品の売れ筋を
大きく左右する話は有名ですね。

上昇時の冷たい飲み物やアイス、
下降時の温かい食べもの、などの売れ方を、
気象情報を予め得ながら、製造段階での
生産量を工場などで調整したりするなど。

家に帰りますと今日は、



(Sサイズ鍋 9/21 19:50)

あつあつの鍋系でした。

数日前にいただいた

北海道産とろろ昆布も加わりまして、

ずるずると。数分でたいらげました。

ちなみに、鍋は



(Rサイズ鍋 19:53)

普通のサイズ1+小さいサイズ1を

親子4人で食べています。

でもそれは帰着時間がずれた場合の配慮でもあり

(幸いこの日は4人ともずれが生まれませんでした),

また、十代後半が2名いるという年齢構成もあり。

温度差なくいただける食卓というのも、

あともう何年くらい続くのかな、などと

ときどき思ったりもします。

にしても、きのうの全校集会で、



(2018/9/20 15:33)

明和会長(=生徒会長)のKさんが全校生徒の皆さんに、
新たな改定事項(スマホ利用の規制緩和)や経緯
のことを語り終わった後の、一体感が素晴らしかった。

話が終わっての「礼」の後、

「ありがとうございました。」という全校生徒の声量も、

これまでに(当方が勤務中に)聴いた中では

最大だったものかもと。

明和会の本部役員生の努力も忘れることはできません。

温度差の無い関係が築かれているのを、

感じる事ができました。



0 コメント

2018/09/28

卓 476 物理的意識

稲刈りからひと月。

再び青々としてきた学校周辺の田園は今朝、

ぼんやりと霧(もや)が立ち込めていました。



(2018/9/28 8:10)



夏空の下の田園を臨むのは、
また来年のことかもしれません。



(2018/6/29 15:37)

今年は6月 23 日までの3週間が、
主に大学4年生による、教育実習期間でした。
初日と最終日の朝礼での挨拶(小スピーチ)が
心に響く内容と語り方だったのが印象的でした。

過去に、教育実習生の事前オリエンテーション
を担当させていただいたことがありました。
その際に、授業で十分に気を配ることの様々
についてを話題とする機会がありました。

当然、言葉のかけ方などコミュニケーションや
板書・印刷物などの表記にかかわる話題が
中心となるのですが、それとは対照的に、

あまり実習では経験できない事から(ご家庭の
方々との対応、集金の会計処理、会議など)の
ことなど、背景に潜在する要素に対しても、
関心が寄せられたりした記憶があります。

実習で経験する環境で、同等に重要なのは、
授業中の物理的現象・状況にどう対応するか、
という点ですが、実は他の職業でも共通事項。

たとえば、太陽光。

窓からの直射日光が机上に当たらぬように
するために、カーテンをどう活用するか。

空調機からの冷氣や暖気が、
室内をどう循環しているか。

窓を閉めきった時間が長い分、新鮮な
空気を取り込むタイミングをどうするか。

電子黒板を教室の左側前方に置いた場合、
画面の内容が角度的に見づらくなるのは、
どのゾーンに座っている生徒か。

授業外では、水分の補給や、被服のこと、
距離に対する所要時間の大きな予測、

などの要素も加わってきたり。

大半は、熱、風、振動、音声に関するもの。

聞いているときも、話しているときも、

物理的意識は、常に同時進行で持ち続けます。

保安と快適さの徹底のためです。

小さいお子さんのいる家庭では、

どなたもが自然と物理的意識に気を尖らせ、

お子さんをけがや事故から守っている…、

これを集団活動の場では、どう留意するのが

適切なのか。経験のほかに、時代による

テクノロジーの変化、安全基準の変化などが

判断の善し悪しを左右するところでもあります。

ですが、物理的意識の欠如でやらかした

家での失敗をひとつ思い出しました。



(2018/7/8 15:21)

夏のある日、

我が家の冷凍庫(引き出し型)には、

子どもたちのチョコモナカジャンボが

数個入っていました。ちなみにお子さん、

小さくありません(大と高)。

で、お楽しみの食べる段になったとき、

「外側のモナカの部分にパリパリ感が無く、

なぜかしっとりとしている」といいます。

「それは変だな。」

あのパリッと感が一番目にあるからこそ、
アイスで日本一の売れ筋商品のはずなのに
(宣伝での関ジャニ∞の尽力もありますが)。

でも原因はすぐに判明。

常温の缶ビールを数本、冷凍庫で1時間冷やし、
その後冷蔵庫氷温室に移したりする人がいる。
何を隠そう、そうしているのは私だけなのですが。

コンビニではカチカチ・パリパリに凍っていた
1個 140円也のチョコモナカジャンボたちは、
冷凍庫の中で、突如お隣に身を寄せてきた
常温の缶ビールから伝わり始めたぬるさに
身悶えるという結末を迎えてしまったのです。

中味のバニラアイスも融け始め、モナカには、
融けたアイスからの水分が滲(し)みに滲み、
あわれ、自慢のパリパリ感は喪失してしまった

という過程により、商品価値は単独で暴落。

まあ、謝りましたが、「あーそうだったんだ〜」

と憤慨した様子もなかったのが救いでした。

これからも、保安や快適さの維持のために、
家で上記のような急速冷却大作戦を行う際は、
貴重な商品価値を台無しにしないよう細心の
注意を払いながら実施するよう気を付けます。

なんだか自ら提言しておきながら、
始末書みたいな結びになってしまいました。



0 コメント

2018/10/05

卓 477 草木も眠れぬ

今日昼・2時半の1号棟。



(2018/10/5 14:38)

6校時始まりの頃ですが、

寄って見えますと、



窓一面に段ボールで

目貼りのしてある教室が・・・。

そういえば我が家の2階にも日曜日以来、



(10/5 17:13)

段ボールを貼りっぱなしの部屋が
あつたりしますが、

校舎の中はといいますと、



(10/5 14:47)

もうおわかりですね。

10/8(月・祝)開催, 第36回聖徳祭(文化祭)

の準備を終日行う期間に今日から入ります。

8:20 と 15:40 のSHRは, 全校生徒で実施。



(10/5 15:35)

随分前だと, 文化祭の指導担当の先生が
ステージ上でじっくりとアドバイスを語るのが
定番だった時代もありました。

それもまたよかったのですが…

今は、常時方々に駆け回っている

明和会長(生徒会長)、実行委員長など、

生徒の皆さんに役目は替わって、はや幾年か。



小笠原流礼法（本校全学年で週1時ある、

お作法の授業）の学びも身につけている

6年生(高三生)のする立礼(りつれい)は、

どの生徒がしてもやはり綺麗なものです。

場がすすがしくなるのをきっと誰もが…。

このあとは、

土曜日(10/6)が準備日の2日目。

日曜日(10/7)が内部公開日

(保護者の方の参観はOK)。

月曜祝日(10/8)が一般公開日です。

ちなみに代休は, 10/9(火)と11/24(土)。

一般公開日の詳細はこちらからどうぞ。

(期日, ポスター画像, バス時刻)

<https://www.seitoku.jp/toride/2018/10/12967/>

(一般公開日のステージ等のプログラム)

<https://www.seitoku.jp/toride/2018/10/12986/>

(保護者のみ・10/7 の内部公開日のプログラム)

<https://www.seitoku.jp/toride/2018/10/12976/>

そのほか,

販売, 展示, お化け屋敷等のクラス企画,

後援会(≡PTA)による, バザー・模擬店・

10均ショップ・各サークルの企画や販売,

聖朋会(同窓会組織)による販売,

入試概要のプレゼン, 個別相談コーナー

などなど, 生徒以外の皆様のご協力も

盛りだくさんです。もちろん,

サポートに来る, 部活OGの底力も絶大です。

さて, 窓全面の目貼りを我が家にしていた

話ですが, お化け屋敷の準備とも異なりまして,

東京 2018年10月1日 (10分ごとの値)

時分	気圧(hPa)		降水量 (mm)	気温 (°C)	相対湿度 (%)	風向・風速(m/s)			日照 時間 (分)	
	現地	海面				平均	風向	最大瞬間		風向
00:10	980.8	983.5	2.0	25.0	97	12.8	南南東	29.5	南	
00:20	979.8	982.5	2.0	24.9	97	12.2	南南東	26.3	南南東	
00:30	979.1	981.8	2.5	24.8	98	14.4	南南東	24.9	南南東	
00:40	979.8	982.5	8.0	24.6	99	10.5	南	23.6	南	
00:50	979.1	981.8	2.0	23.9	96	12.9	南	26.6	南南西	
01:00	978.2	980.9	1.5	23.9	96	14.6	南	29.0	南	
01:10	977.3	980.0	0.0	24.1	94	14.7	南	33.1	南南東	
01:20	976.4	979.1	0.0	24.2	93	13.0	南	30.0	南	
01:30	977.0	979.7	0.0	24.2	94	14.5	南	32.7	南南東	
01:40	976.2	978.9	0.0	24.4	91	16.7	南	36.1	南南西	
01:50	975.8	978.5	0.0	24.6	89	17.6	南	39.3	南	
02:00	974.8	977.5	0.0	24.6	89	15.3	南	35.6	南南西	
02:10	974.6	977.3	0.0	24.8	87	12.5	南	24.8	南	
02:20	975.6	978.3	0.0	25.1	85	12.3	南	23.4	南	
02:30	977.0	979.7	--	25.2	81	13.8	南南西	31.3	南南西	
02:40	977.6	980.3	--	25.2	79	13.8	南南西	25.3	南	
02:50	977.7	980.4	--	25.1	78	11.1	南南西	25.0	南南西	
03:00	978.4	981.1	--	25.3	76	9.7	南南西	17.8	西南西	
03:10	978.3	981.0	--	25.2	77	9.3	南南西	23.4	南西	

(2018/10/1 0:10-3:10 東京, 気圧・風速ともに 2 時頃に極値を)

(気象庁ホームページ ~過去の気象データ検索~)

日曜深夜に日本列島を縦断した台風 24 号対策。



(9/30 19:05 自宅・さきほど外からの画像の、段ボール急ぎよ目貼りの窓)

雨戸無しの窓への、強風による飛来物対策。

にしても、深夜・2時半頃の強風には恐怖感。

25 号の報もあり、まだそのままにしています。



(10/1)

翌朝の学校は、2時間遅れ登校。



(10/1 7:48)



(10/1 7:53 銀杏の絨毯。例年は11月中旬に採れる秋の幸。)

その前に、先生方で20分ほど外掃除。



(10/1 8:25)



(10/1 8:26)



(鶏のササミを連想する断面)

さらに、第2グラウンドの芝生には

細い樹が押し倒されているのか？と思いきや、



(10/1 8:29)

高い所からパキッと折れた大きな枝葉が、



(10/1 8:30)

やりのように芝生にプスッと

突き刺さっていたという驚き。

下に人が歩いていたらと思うと怖ろしい限り。

学ぶことの多いこと。

そして、鉄道各線の混乱に疲れての登校。



(10/1 10:16)

教室の窓ガラスには、昨夜の暴風により



(10/1 12:06)

野原や田畑から巻き上げられたほこりや

草のかすなどがこびりついています。



(10/1 13:37 14:50)

お掃除の時間に、総出で拭き取りましたが、



(10/1 14:50)

限られた時間では全校のすべての窓は
拭き取りきれないままに、文化祭を迎える

ような箇所が多々ありそうな中….



(10/5 14:38)

お化け屋敷の参加団体だけが間違いなく
台風による窓の汚れをお客様の目にさらす
ことがありえないと言えそうなのですが、

創造に駆使した大量の段ボールが、
終了後、どのように処理されるのか。

ここに限らず、推進の進化に注目です。

今回のタイトルの「草木も眠れぬ」の元ネタは

「草木も眠る 丑三つ時(うしみつどき)」です。

丑三つ時は、午前2時頃の古い言い方です。

ですが、このたびの台風では、枝は折れるわ、
ちぎれた草が窓に付着するわで、草木の多くは
安眠しえなかった丑三つ時だったものかと…。

本祭前夜は ぜひとも眠ってほしいもの。



0 コメント

2018/10/12

卓 478 未聞の事態

10/7(日)・10/8(月・祝)は、
文化祭・第36回聖徳祭でしたが、
代休明けの10/10(水)は早くも、
中間考査1週間前に突入です。



(2018/10/11 15:35 15:32(新役員) 全校集会。明和会(生徒会)役員はこの日、代替わり。)

聖徳祭の様子は、

数分間の動画入りでHPIにアップされました。

↓一般公開日(10/9)の様子・ダイジェスト

(動画 2' 35")

<https://www.seitoku.jp/toride/2018/10/13001/>

(1' 35" あたりで小職ほんの一瞬、視えてはいけないもののように映っています)

↓ 内部公開日(10/8)の様子・ダイジェスト

(動画 3' 19")

<https://www.seitoku.jp/toride/2018/10/12993/>

ここ数年間で、以前とは変わったと思う点は、
各参加団体の内装や外装も審査対象となった
ために、力作が勢揃いしている点でしょう。

さらに、今年の生徒たちが大きく変えた点は、
10年位前だと教員が動き回っていた部分が、
生徒たちの自治的な活動にかなり転換された
という点。



(9:13 内部公開日は保護者の参観ができる日です。)

たとえば、第1体育室での内部公開の
全生徒必修鑑賞のスタイルを、並べられた
パイプ椅子にクラスごとに着席するのをやめ、



(10:15 10:16)

クラスごとの一体感を得るために、
床にクラス単位で島をつくって座るなどの
スタイルを新たに打ち出したことや、

備品の貸し出しや回収業務の大部分を
生徒たちで切り盛りするようになったことなど
が目に止まり、心に残りました。

34期生の

明和会長(生徒会長)を務めた黒江さん、
聖徳祭実行委員長を務めた徳本さん、
おつかれさまでした。

卒業生の皆さん。後輩たちはおかげさまで、
推進・進歩・発展する力をよりいっそう強く、
和の精神を基に、身につけてきています。



(10/8 17:27)

後援会(≒PTA)の役員・評議員・スタッフの皆様,
そして, 元・本部役員の皆様も当日は
お力添えをありがとうございました。

元役員の皆様も, これまでの年の本部役員会で
聖徳祭における支援活動(バザー・模擬店)の
改善に熱心に取り組んでくださいました。
その際に見出された方策が引き継がれています。



(10/8 11:51)

話は変わりますが、

10/1 のあの台風24号の通過から

10 日以上が経ちました。

外洋からは 60km, 東京湾からは 30km も

内陸に位置する取手市でも、

市街地にある電柱で出火するなどの

塩害が起きていました。

台風による塩害は今回初めて耳にしました。

要するに、暴風で吹かれてきた海水の塩分が
地表のさまざまなものの表面に付着すること。

電柱や、鉄道の架線などに添えられている
電流を通さない絶縁部分の碍子(がいし)に
付着した塩分が、一旦乾いて、数日後に
湿度が高まったり、雨が降るなどした際に、

碍子の表面の塩分が水に解けて通電し、
ショートが起きて出火に至ったという事態が
成田空港と都心を結ぶ京成線などで発生し、

運転見合わせに遭って予定の航空機に
乗り遅れてしまう方々が出たという影響が
報道されました。死傷者が出るレベルでは
なかったとはいえ、前代未聞の被害です。

前号でご紹介した窓ガラスの汚れも、一部の
拭き取れていないガラスをよく見ますと、



(10/12 9:18)

塩の小さな粒が残っているようにも見えます。

これは初めて目にしました。

農作物や自動車の車体の錆びなどの影響も

ほとんどなければよいのですが。

最後に、

聖徳祭に足をお運びいただきました

卒業生の皆さん、元教職員の皆さん、

どうもありがとうございました。

またお話できる日をお待ちしております。



(2018/10/8 12:39 6期生)

(15:18 27期生 元教職員Y田先生)



0 コメント

2018/10/19

卓 479 不思議発見

金曜の正午にて、

水木金と中間考査もひとまず終わり、

誰より早く じきどう(食堂)に

着いてしまった私。



(2018/10/19 12:03 5A理の地理テスト終了の3分後 記載は会食委員生徒)

(実際は、出張・直帰のため早目に食事をとった先生あり、で「誰より早く」に非ず)

左側のボードには生産地の記載。

多分お飾りではないと思います。

でも、

豚肉、にんじん、ごぼう、青菜(小松菜)、

そして、主役とおぼしき、栗！ の、

とれた県名や、省名まではたぶん、

載せきれなかったのかなと不思議に思いながら、



(12:20)

魅惑の813kcal をいただきました。

でもお替りしましたので Mcal 이었습니다。

「終わった！」が、結果が怪しい意味でなく、
テスト期間終了を喜ぶ言葉である皆さんに、
お茶碗で頂くおこわのもち米＋秋の味覚は、
お疲れ様感をやさしくカバーしてくれました。

期間中は教員の方も



(10/17 16:00)

身体を十分動かす時間を間に挟みながら、
作問や採点などに当たっておりました。

最終日の今日も 13:20 放課でしたが、
午後もボランティア関連の準備打合せが2件。



(14:07 14:54)

酷暑の名残も息をひそめ、

聞いて実感する平成最後の秋が過ぎゆきます。



(10/5 7:54)

9/1～12/20 の 111 日間ある2学期の中日は

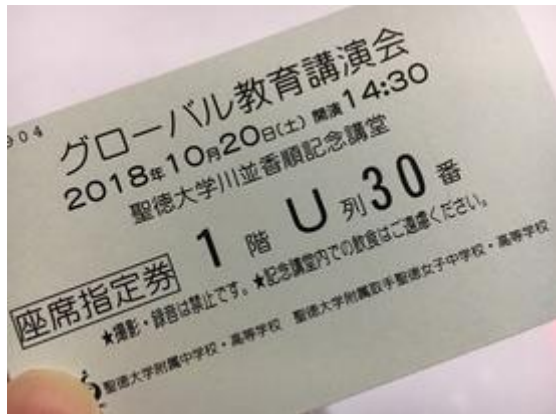
10/26。来週ですね。

正式には 8/1～12/31 の5か月(153日)ゆえ、

10/16が中日。今週火曜日でした。

何れにしても、2学期ど真ん中、平成最後の。

あす土曜午後は、全校生徒がこちらを聴講に。



不思議発見のミステリーハンターの先生から

お話を…。

聴講中に不思議を発見されたらアウトです。



0 コメント

2018/10/26

卓 480 「入試説明会」がいよいよ始まります

前号で記しました, グローバル教育講習会は,
聖徳大学にて, 松戸校(聖徳大学附属女子中学校・高等学校)の
皆さんと二校共催で全校生徒が受講しました。



(2018/11/20 13:52 集合までまだ 38 分。)

TBS テレビ『世界・ふしぎ発見!』(1986~)にて,
取材先のリポーター・「ミステリーハンター」
を 2000 年から続けていらっしゃる坂本三佳さん
を講師にお招きしまして, 数十か国の取材先の

自然や社会・文化をもとにした興味深い画像と
エピソードを2時間近くご紹介いただきました。

質疑応答では、他局の番組で活躍する
イモトアヤコさん(こちらは珍獣ハンター)の
先輩ともいえる歩みの大きさを感じ取ったこと
をふくませながら質問する高校生もいました。



(16:32 聖徳大学構内。終了後。リボンが赤が松戸，青が取手の生徒。)

週明けの学校では、
すごしやすい天候が続いたものの、
朝と昼の気温差で体調を崩しかける生徒も

散見される一週間となりました。



(10/24 13:58 年2回の避難訓練。今回は地震想定型で5校時の授業中の実施。)

(教職員の中には、安全ではない箇所に一定時間張り付く担当もいるため、装備が異なります。)



災害発生時は、学校や自宅にいるときよりも、
登下校の移動時の方にこそ難題があるため、
各人・各家庭で「・・・にいる場合は・・・する」を
決めておこうということも毎回強調されます。

陽射しの角度も低くなり、午後は室内を直射。
南向きゆえ、カーテンを引かざるを得ません。



(10/24 14:57)

庭の木々も、徐々に秋の深まりを帯びています。



(10/25 13:17)

金曜は、児童保育進学コースの6年生(高三)
9名が、取手市立子ども発達センターで終日、
療育ボランティア活動に。解散時の様子です。



(10/26 13:33 3年後・5年後は保育所や幼稚園で活躍予定の生徒たち。)

さて、いよいよ 10/27(土)から、

夏のオープンスクールに続く

受験生来校者イベント「入試説明会」が

4回シリーズで開催されます。



(去年の様子 2017/11/11 13:32)

すでに、9/22に小学生のみ対象、
10/8(聖徳祭日)はプレゼンのみを
開催しましたが、対策講座併設で、
小学生対象+中学生対象での開催は
今回からとなります。10/27(土)のほか、
11/11(日)・11/23(祝)・12/7(土)
が開催日です。

各教科の入試対策講座は、
毎回同内容ではなく、各回にて
第1～4回のシリーズ構成となっております

ので、傾向と対策を学ばれるために、すべての
回にご参加の方も毎年多くいらっしゃいます。

講座担当も、他校様の受験にも役立つような
視野で説明を展開しますので、受験を前に
効果的な準備時間としてご利用いただけます。

2時間程度の日程の構成ですが、
説明、入試問題対策など、自由に選べる
25分間のコーナーの3連続で構成されて
おります。開始時刻は、土曜日が 13:30、
日・祝日が 9:30 となっております。

以下、高校・中学の順でのご案内です。

日程のご案内

【高校受験のみなさん】

PDF <https://www.seitoku.jp/toride/wp-content/uploads/fc203adba81db202685a1c6d4d3bec31.pdf>

・ 13:30-13:40 全体会（視聴覚教室）

I 13:50-14:15（5 択です）

・ 英語の受験対策

・ 探究の学び紹介・カリキュラム説明

・ 音楽科の説明

・ 吹奏楽部推薦入試説明

・ 駅伝部推薦入試説明

II 14:25-14:50（4 択です）

・ 国語の受験対策

・ 校長先生による学校紹介 [中高共催]

・ 聖徳大学の内部進学制度説明

・ 推薦入試面接の対策 [中高共催]

III 15:00-15:25（8 択です）

・ 数学の受験対策

・ 入試概要説明

・ 推薦入試面接の対策 [中高共催]（再）

・ 音楽科の説明（再）

・ 吹奏楽部推薦入試説明（再）

- ・ 駅伝部推薦入試説明（再）
- ・ 校舎内施設見学 [中高共催]
- ・ 教員との個別相談 [中高共催]

日程終了後 アンケートのご記入

15:35～16:00 ご希望の方のみ

- ・ 校舎内施設見学 [中高共催]（再）
- ・ 教員との個別相談 [中高共催]（再）

【中学受験のみなさん】

PDF <https://www.seitoku.jp/toride/wp-content/uploads/6394669e629a56223cf7440f9df1c91a.pdf>

- ・ 13:30-13:40 全体会（コンピュータ教室）

I 13:50-14:15（2択です）

- ・ 国語の受験対策
- ・ 入試概要説明

II 14:25-14:50（5択です）

- ・ 算数の受験対策
- ・ 校長による学校紹介 [中高共催]

- ・ 適性検査型入試・筆記試験の受験対策
- ・ 英語入試について
- ・ 第一志望入試・個別面接の対策 [中高共催]

Ⅲ 15:00-15:25 (7 択です)

- ・ 社会と理科の受験対策
- ・ 適性検査型入試・集団面接の受験対策
- ・ 推薦入試面接の対策 (再)
- ・ 第一志望入試・個別面接の対策 [共催] (再)
- ・ A O 入試について
- ・ 中学・学校生活について説明
- ・ 校舎内施設見学 [中高共催]
- ・ 教員との個別相談 [中高共催]

日程終了後 アンケートのご記入

15:35~16:00 ご希望の方のみ

- ・ 校舎内施設見学 [中高共催] (再)
- ・ 教員との個別相談 [中高共催] (再)

ご来校をお待ちいたしております。

お申込みはこちらからどうぞ。

<https://torideseitokuinfo.jimdo.com/%E5%85%A5%E8%A9%A6%E8%AA%AC%E6%98%8E%E4%BC%9A%E7%94%B3%E3%81%97%E8%BE%BC%E3%81%BF/>



0 コメント